

片岡愛之助が目の前に登場！
時間や場所を問わず「歌舞伎」の観劇体験ができる AR コンテンツ

2021年1月15日(金)より配信開始予定

松竹株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:迫本 淳一、以下「松竹」)は、「未来の観劇体験」をテーマにしたアプリ『INTO by Shochiku』、及びそのアプリ内で楽しめる AR 歌舞伎コンテンツ『Reverse Reality ~KABUKI Performance "Shakkyo"~』、以下『Reverse Reality』をリリースいたします。



本アプリは、エンタテインメントと先端技術を掛け合わせた「未来の観劇体験」がテーマです。

『Reverse Reality』では、伝統芸能・歌舞伎と AR(Augmented Reality:拡張現実)技術を融合させることによって、歌舞伎の新たな楽しみ方を提案します。スマートフォンやタブレットのカメラ越しに、歌舞伎俳優・片岡愛之助扮する獅子が現れ、約6分間の舞踊を披露いたします。AR技術を用いることで、体験者のいる場所が“舞台”となり、目の前で歌舞伎俳優の演技や、蝶・牡丹が舞う空間演出を楽しむことができます。

本コンテンツは、歌舞伎舞踊の『石橋(しゃっきょう)』を題材とし、獅子が毛を大きく振る場面が見どころです。ARの立体的な映像表現との親和性が高く、実際の舞台公演にも劣らない躍動感と迫力を表現しました。

舞伎俳優の表現には、ボリュメトリックキャプチャ技術を用い、実際の歌舞伎俳優を撮影した映像から3Dデータを生成しています。勇ましい表情や美しい毛の流れといった細部まで再現され、360°の自由な視点から楽しむことが可能です。



※体験イメージ

また、本コンテンツでは2種類の異なる楽しみ方をご用意します。

- ① 時間や場所を問わず、歌舞伎舞踊をAR で表示する楽しみ方(上記体験イメージをご参照ください)
- ② PC やタブレットで配信される、特別な背景映像と合わせて観劇する楽しみ方(1月中旬発表予定)



主演:片岡愛之助

.....
歌舞伎をはじめ、演劇業界は新型コロナウイルスの感染拡大により大ダメージを受けました。ただそんななか不幸中の幸いか、このように歌舞伎を”だれでも””どこでも”体験していただける機会をつくることができました。エンターテインメントとしての新しい歌舞伎のカタチが、今ここに生まれたと思っています。

この新しい歌舞伎の楽しみ方を、特に若い世代の方々に是非体験していただきたいと思います。
劇場で歌舞伎を観劇することにハードルの高さを感じていた人、そもそも歌舞伎に興味を持っていなかった人。一人でも多くの方にこのアプリを通じて歌舞伎の魅力を知っていただき、「今度は生の舞台を観てみたい！」と
思っただけいたら大変嬉しく存じます。
.....

当社が取り組むエンタテインメント×先端技術の研究開発について

当社では、近年、先端技術を用いた新しいエンタテインメントの開発に取り組んでいます。2018年に「Entertainment×Technology」を事業領域とするジョイントベンチャー・ミエクル株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 井上貴弘）を設立し、歌舞伎やお笑い、お化け屋敷を題材としたデジタルコンテンツやサービスの研究開発を進めて参りました。2019年10月には、当社内にイノベーション推進部を設置し、当社グループのオープンイノベーションの推進を目指しています。

昨今、新型コロナウイルス感染症拡大により、歌舞伎興行も変革の時を迎えました。歌舞伎座では、去年3月から5カ月間全ての公演を中止し、再開後も、従来と異なる興行態勢を続けています。映像配信のサービスも始まるなど、「観劇体験」の多様化は、今後急速に進んでいくものと予測しています。

現在、当社では、ARに加えてVR(Virtual Reality:仮想現実)やMR(Mixed Reality:複合現実)を使った観劇体験の開発も進めています。先端技術を用い、時間や場所を問わず、幅広い世代の方々に向けた未来のエンタテインメントを創り出していきます。

【アプリ概要】

- [アプリ名] INTO by Shochiku
[コンテンツ名] 『Reverse Reality ～KABUKI Performance ”Shakkyo”～』
[提供開始日] 2021年1月15日(金)予定
[対応] iOS/iPad OS:13.7以降、Android:10以降
[料金] 無料
[公式サイト] <https://INTObyShochiku.com>
[公式 Twitter] @ReverseReality_
[操作に関するお問い合わせ] shochiku.xr@shochiku.co.jp

主演： 片岡愛之助
振付： 藤間勘十郎
製作： 松竹株式会社
協力： mod (sabakichi、番匠カンナ)、カディンチェ株式会社、株式会社 HERE.、株式会社 AMSY.、PT.CITRA WAHANA TEKNOLOGI、松竹ショウビズスタジオ株式会社
機材協力：TSUKUMO